会 議 記 録

会議名称	第3回忠類地域住民会議
開催日時	平成 30 年 9 月 4 日 (火) 13:30~15:46
開催場所	忠類総合支所 2 階小会議室
出席者	委員長、委員 15 名中出席者 14 名、事務局 7 名
次 第	 開会 委員長あいさつ 議題 報告(1) ドッグランの設置について (2) 地域おこし協力隊の募集結果について (3) 白銀台スキー場レストラン事業者の選定結果について (4) 南十勝複合事務組合ごみ処理施設整備方針の検討結果について 議案(1) 地域学の取組の進め方について (2) ナウマン象発掘 50 周年について 4 閉会
会議概要	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 報告(1) ドッグランの設置について (今年度試験的に設置したことについて報告) Q: 汚物の処理はどうなっているのか。 A: ドッグラン入口に注意事項を掲示して周知しているが、汚物については自己処理していただいている。加えて、平日の朝、夕方に職員が見回りをして確認している。 Q: 利用者間のトラブルはないのか。 A: 愛犬同士の喧嘩はたまにあるが、大きなトラブルの報告はない。 Q: ドッグランの中ではリードを外してよいのか。 A: 慣れている犬はリードなしで利用可能としているが、慣れていない犬は危害を加えないように注意してもらう。 ・ 空いている場所にテーブルやイスを置いて飼い主もドッグカフェのように座ってごはんを食べられるとよいのではないか。 ・ 注意事項をしっかり周知し、出入口の管理や飼い主ではない人が犬に噛まれた等の場合を想定して対策を考えていけば大変良い取り組みだと思う。 報告(2) 地域おこし協力隊の募集結果について (内定者が最終的に辞退した事について報告) ・ 地域の状況に合わせた条件を設置しなければ中々応募はないのではないか。半年も過ぎて未だ協力隊1人もいなく、何をやっていたのだと言われても仕方ない。住民も期待していただけに非常に残念。 ・ (条件を改めることにより辞退した方が再度受けることに関して)選考結果で採用になったにもかかわらず辞退した者については、再度応募する権限はないと思う。 ・ 受け入れる側の柔軟性を求められていると思う。今回は、もっと柔軟に対応していれば結果は違っていたかもしれない。 ・ 協力隊に関しては、幕別町が1番遅れているように感じる。本庁が主体

で募集しているようだが温度差があるように感じる。地元忠類をもっと理解するべきだ。

- ・ 住民会議での協力隊期待度が本庁に伝わりにくい。
- 報告(3) 白銀台スキー場レストラン事業者の選定結果について (大樹農社を運営事業者として選定した事を報告) 質問・意見なし
- 報告(4) 南十勝複合事務組合ごみ処理施設整備方針の検討結果(案)について
 - ・ 可燃ごみも不燃ごみも全てくりりんセンターに移した方がいい。可燃ご みだけ持って行き、使えなくなったら不燃ごみも持って行くとしても受け入 れてもらえるのかという問題が出てくる可能性がある。最初から全てくりり んセンターが良いのではないか。
 - ・ 幕別町としては、全部運んだ方が一番安くて良いのではないか。

議案(1) 地域学の取組の進め方について

- (※ 忠類村時代には「ちゅうるい」という社会科の副読本で忠類の歴史を学校で勉強してきた。合併後、「まくべつ」として再編集され忠類に関するページが少ないため、改めて作成してはどうかというのが始まり)
 - ・ 幅広い年齢層の方に携っていただくほうがより深みのある愛着があるものになるのではないか。
 - ・ 教材の一つとして扱ってもらえると忠類という地域が見えてきて良いのではないか。
 - 一家に一冊配付しても良いのではないか。
 - ・ 配付して見て終わる、ではなく活用方法をどうしていくか考えなくては いけない。
 - ・ 当時の「ちゅうるい」を全改正する必要はないのではないか。それを基 に必要なところだけ改正していくのはどうか。
 - 昔の写真は必要だと思う。
 - ・ 幕別町と合併しているので、幕別町の事も含めて、幕別町を解った上で、 住んでいる忠類の歴史について解る一冊にしたい。

議案(2) ナウマン象発掘50周年について

(計画しているのは、①現在北海道博物館に展示しているナウマン象を里帰り させる。②発掘跡地の発掘③その後の研究の成果を発表する記念講演。他 に足寄町の足寄動物化石博物館との連携事業や、記録映像の作成等)

- ・ 寄付金等を有効に使って実施して欲しい。
- 学術的な成果を踏まえ新たな展示物を作成してみてはどうか。
- 子ども達に対しても何か発信していきたい。

4 閉会